



ヒバの床や漆喰壁が温もりを感じさせる託児所

**木暮 昌弘 さん**

(1974 年、東京都大田区出身、(株)四季菜)

**理恵 さん**

(1978 年、奈良県出身、グリーンリーフ㈱)

移住年：2012 年 3 月

移住地：沼田市、勤務地：昭和村

家族構成：夫婦、子ども 3 人

★グリーンリーフ㈱

★グリーンリーフ㈱託児所

<http://www.akn.jp/index.php>

<http://cando-n.com/takujisyo/>

## 農業は転職するひとつの選択肢だったが 社長との出会いにより農業生産法人へ転職。 5 年目になって農業の面白みとやりがいがありました。

### 社長との出会いが就職、移住へ

製造業の仕事をしていたのですが、リーマンショックや体調を崩して転職を考えていた時、夫婦で「農業人フェア」に行ったんです。福利厚生が充実している会社を希望していて、たまたま今の会社に案内されました。そこで社長に出会い、社長の熱心な説明と会社を良くしようという気持ちが伝わり、一度研修に行ってみることにしました。ところが、2 月の研修期間中には引っ越しの準備をしていて、3 月には移住をしていました。既に、今の会社へ転職して移住する気持ちが固まっていたんだと思います。決断できたのは妻がいてくれたお陰です。一人だったら移住したかわからなかったですね。(昌弘さん)



### やりがいのある仕事

仕事は売上げ計画に沿って全て任せてもらえます。自分たちで考えチャレンジでき、よりよいモノを作ろうとモチベーションも上がります。最初は、周囲のアドバイスを理解できずストレスになっていました。だんだん分かってくると面白みが出てきます。農業は自然が相手なので思い通りにいきませんし、簡単な気持ちだと続かないと思います。ひとつの専門知識だけでは通用せず、感覚を養ったり、すぐに行動することも大切です。(昌弘さん)

会社の託児所に息子を預けていますが、昼食も一緒に食べられ、何かあればすぐ会えるのも良いところです。(理恵さん)



有機ほうれん草を栽培する昌弘さん

### 移住してわかったこと

生活に便利な沼田市にアパートを借りました。家賃は安かったです。ただ、東京では必要なかった車の購入や車の税金、ガソリン代の出費が増えました。LP ガス代が高くて目を疑いましたね。でも、地元の人にとってはこれが当たり前のようです。田舎だから安く喜らせるという考えは持たない方がいいと思います。沼田は、自然と触れ合えて子どもを育てやすいところです。定住するのなら家を構えたいと思っていて、家賃と変わらない程度のローンで家が建てられるとわかり 2016 年に家を建てました。駅や中学校が近く生活しやすい場所に家が建てられて良かったです。(理恵さん)



### 地域の付き合い、コミュニケーション

夫に消防団の勧誘がそろそろ来るかなと思っています。上毛カクタ大会の練習や沼田まつりなど地域の当番もあってたいへんですが、そのお陰で地域の人とも知り合えて良かったと思っています。あと、割と知り合い同士が繋がっていて、世間が狭いことに驚きました。人づき合いが苦手な人は、田舎暮らしに向いていないかもしれません。こちらから歩み寄っていけば親切にしてくれます。(理恵さん)

農業も同じで挨拶をすると隣の畑の人が色々教えてくれ、畑仕事もしやすくなります。懐に入ることが何より大切です。(昌弘さん)